

一 ① そんな暮らし とはどのような暮らしですか。それがわかる部分を二十字以内で抜き出さない。

-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----

二 ② ほとんどなかった とありますが、どんなことが「なかった」というのですか。

三 ③ 深い雪に埋もれて、ただひそやかに息づくしかない毎日 とありますが、そのような日々を何と表現していますか。適切な四字の言葉を抜き出さない。

四 ④ ボクは門前の小僧である とありますが、ここではどういうことですか。説明しなさい。

五 ⑤ ワラ細工専用の小屋 に行くことに対して、子どもたちはどのような気持ちをもっていましたか。十字程度で二つ答えなさい。

-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----

六 ⑥ 頼まれもしないのに積極的にお手伝いをした とありますが、目的は何ですか。二十字程度で二つ答えなさい。

番号	<input type="text"/>	名前	<input type="text"/>	得点	<input type="text"/>
----	----------------------	----	----------------------	----	----------------------

七 ⑦ 小躍りした とありますが、このときの気持ちを次の中から選び、記号で答えなさい。

-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----
-----	-----

- ア 喜んだ イ 驚いた ウ 懐かしんだ エ 動揺した

<input type="text"/>

八 ⑧ 格好の供養とばかりに とありますが、ここから読み取れる筆者の気持ちとしてもっとも適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア おきざりにされたワラジを早く使ってしまった。
 イ 凝っている鮎釣りに最適だし、祖父も喜ぶだろう。
 ウ 苦労して作ったワラジを使わなければちがが当たる。
 エ ワラジを処分するのは孫である自分の責任だ。

<input type="text"/>

九 【A】・【B】に適切な語を次から選び、記号で答えなさい。

A <input type="text"/>
B <input type="text"/>

- 十 C おぼえ D 魂胆 の意味として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。
- C ア 記憶 イ 人気 ウ 感覚 エ 評価
 D ア 策略 イ 決心 ウ 想像 エ 努力

十一 【E】に入る適切な四字の言葉を抜き出さない。

C <input type="text"/>
D <input type="text"/>

十二 この文章の説明として適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 祖父から学んだことが今の自分をつくっているのであると確信している。
 イ ワラジが呼び起こした祖父の思い出をユーモアを交えつつ語っている。
 ウ 貧しかった子ども時代を風景と共に悲しく思い出しながら描いている。
 エ かつての東北の冬の厳しい暮らしを現代と比較しながら描いている。

E <input type="text"/>

<input type="text"/>
